

## 目標達成計画

作成日：平成 28年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新人職員と旧職員の間関係の構築。講演、研修など受講の機会が少ない臨時職員の愛社精神教育と危機意識の向上。	研修や講演など、積極的に受講できるよう、勤務状況を把握し、職員同士が協力し合い自己研さんに励む環境を作る。全体目標だけでなく各職員の自己目標も設定し、達成できるように支援する	上司が毎月のミーティングに参加し、管理者と共に職員の声を真摯に受け止め、今後のより良い方向性を模索している。また、所属長会議に於いて、情報提供し検討している。毎朝の申し送り時に目標を唱和している。	6ヶ月
2	24 26 27	兼務による計画作成時間の減少で、ご利用者様一人一人のアセスメントの把握や、そのための時間が十分確保できていない。至急に伝えたい健康管理や医療情報の迅速な伝達と把握。	業務整理し計画作成に費やす時間を工夫をする。介護職員にもアセスメント→プラン作成→モニタリングの経緯を把握してもらいプランニングの視点を持って情報提供ができるよう、業務分担などを図り協力体制を作る。	介護計画策定の流れを全職員共有しておくプランに基づき、自立支援に向けたサービス提供ができるよう、情報の伝達周知徹底と、利用者本位の支援を提供する。	6ヶ月
3	48 55	アセスメント、ケアプランに基づき、一人一人の自立支援に向けた役割分担。役割がマンネリ化している	各ご利用者様のできること、支援が必要な事・量を把握し、職員全員が担当を決め、定期的に変替しながら、できることを模索し、潜在能力も含め、伸ばしていける支援を心掛ける	ご利用者様ごとに、できることの目標シートを作成し、達成感を味わえるような、またできることの幅を広げていく。毎朝ご利用者、職員全員でラジオ体操を続けている。	6ヶ月
4	2 3	毎年行っている家族会主催の夏祭りの見直し。だんだんと規模が大きくなり、職員の負担が大きくなりつつある。	苑が開設された翌年から花火大会として続けていたが、28年度から規模を縮小し、家族会が発足した原点に戻る	苑だけの行事とせず、地域行事へ参加させて頂き、協力し地域交流を深める。	6ヶ月
5	9	介護保険報酬減で収入が大幅に下がり赤字経営となっており経営努力をする。空床期間短縮のため早めに対応する。	経費の見直し、職員の協力と意識改革	利用料の見直しと他施設の情報を取得し比較検討する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。